

## 第2回第七採択地区教科用図書採択協議会

### 議事録

期 日 令和6年7月22日（月）

場 所 鴻巣市役所本庁舎3階 302・303会議室

開 会 9時00分

閉 会 16時30分

令和6年度 第七採択地区教科用図書採択協議会会長 齊藤 隆志

委 員 桶川市教育委員会 岩田 泉 教育長 青木 健志 委員

伊奈町教育委員会 高瀬 浩 教育長 三國 隆夫 委員

北本市教育委員会 神子 修一 教育長 黒川 範子 委員

鴻巣市教育委員会 齊藤 隆志 教育長 加藤 幸弘 委員

事務局 鴻巣市教育委員会学校支援課長 杉山 賢次

鴻巣市教育委員会学校支援課指導主事 松本 学

1 開 会

2 あいさつ 第七採択地区教科用図書採択協議会会長（鴻巣市教育委員会教育長）

3 日程等の確認及び説明

（事務局）日程等の説明

4 調査報告・質疑

（司 会）協議に入る。ここからは齊藤会長に議長をお願いします。

（議 長）それでは、協議に入る。

記録について、要点のみ記録することによろしいか。

（全 員）異議なし。

（議 長）発言者については、議長とか委員Aという形によろしいか。なお、記録作成のため、録音させていただく。記録が済み次第消去するというので、いかがか。

（全 員）異議なし。

（議 長）傍聴人は第七採択地区教科用図書採択協議会傍聴人規約に基づき、傍聴願う。それでは、協議に入る前に、選定の流れについて事務局に説明願う。

（事務局）選定の流れについて確認する。

協議終了後、教科用図書選定の時間において、協議の内容から委員の皆様のご意見により決定していく。委員全員の意見が一致したときには、その図書を第七採択地区の採択案として選定する。一致しなかった場合、規約第13条により、投票となる。投票の場合は規約第13条の2項により、過半数を得た教科用図書を採択案として選定する。また、規約第13条の3項により、過半数を得ない場合は、得票数の多い順から2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得たものを選定とする。規約第13条の4項において、得票数が同じ場合、選定前の協議経過を勘案して会長が決

するとなっている。

選定の流れについては以上。

#### (1) 保護者の代表による研究結果の報告

(議長) それでは、研究結果の聴取に入る。はじめに、保護者の代表による研究結果の報告である。事務局から保護者の代表を紹介する。

(事務局) 保護者の代表として2名の方に依頼し、中学校の教科用図書全般にわたって研究していただいた。その結果を聞き取り願いたい。

(議長) それでは、よろしく願います。

(保護者代表) 保護者の立場から、国語・書写・地理・歴史・公民・地図・音楽・美術・外国語・数学・理科・保健体育・技術・家庭・道徳の教科用図書を調査した結果を報告させていただく。

#### 【国語】

○東京書籍は、今の時代の生徒に寄り添った表紙のイラスト選定はセンスがあると思った。思わず手に取りたくなる、大事にしたくなる、そんな風を感じた。

○三省堂は、詩や読み物のチョイスが、中学生の生徒が興味を惹きそうな内容だと感じた。中身のデザインがこっていて、イラスト等も使いながら、見やすくなっていた。

○教育出版は、デザインはシンプルながら、適度に余白があって、見やすいと感じた。私の時代の教科書に一番近いと感じた。

○光村図書は、思考の地図の部分印象的だった。思考の仕方やその重要性がわかりやすく説明されていて、それを学んでから国語を学ぶのはとても効果的に感じた。

#### 【書写】

○東京書籍は、指でなぞって考えようのパートが、指を使いながら、違いを頭で考えながら探す、ただ書き方を教えるのではなく、どのように書くのかを考えさせるのが、

生徒たちにとってはとても有用に感じた。

○三省堂は、単元ごとの教材の構成が、目標、振り返り、実際に書いて身に付けるとなっていて、とてもわかりやすく整理されていると感じた。ページの余白も多過ぎず少な過ぎず見やすい。

○教育出版は、学びリンクの活用を促すため二次元コードをつかった学習ツールの使い方ははじめにしっかり説明してあることで、とても活用しやすいと感じた。デジタルとの組み合わせ方の重要性を感じた。

○光村図書は、イラストが豊富で可愛く、漫画等も使い、生徒たちの興味関心をひきそうだと感じた。毛筆での書き方も、実際の筆の画像や、わかりやすい擬音語を使いながら、とても学びやすいと感じた。

#### 【社会（地理的分野）】

○東京書籍は、地図自体の量が少なめで、サイズも小さいかわりに、情報量が多くなっているように感じた。

○教育出版は、4社のなかでは一番見やすかった。どのページを開いても写真やイラストが豊富で、色使いも見やすくなっていた。

○帝国書院は、アクティブ地理のページが特徴的だと思った。地理的観点から世界のことを考える事を上手く教科書に盛り込んでいるように感じた。

○日本文教出版は、地図やグラフ、イラストが豊富で直感的に学習しやすいような構成になっているように感じた。

#### 【社会（地図）】

○東京書籍は、鳥瞰図が取り入れられており、町の様子がとらえやすい。各ページには、考えるポイントが明記されていた。

○帝国書院は、色味がはっきりしていて見やすく、他教科でも活用できる資料や今日的課題にも対応できる資料や、地図を読み取る技能を身に付けるコーナーも多くあった。

## 【社会（歴史的分野）】

- 東京書籍は、ページ右端に、そのページに対応した時代と年が示されていて、目次のように作られているつくりがとても見やすかった。
- 教育出版は、学習のまとめと表現のHOPの部分で、日本と世界の動きが時系列でまとめられているのが整理しやすくいいと思った。
- 帝国書院は、思考ツールをしっかりと最初に説明し、それらをととても効果的に使っていて、わかりやすいと感じた。
- 山川出版は、歴史を考えようという単元で、学習してきた情報をもとになぜそのようになったのか等生徒たちが考察できるようになっているのがとても学びになると感じた。
- 日本文教出版は、タブレットマーク、二次元コードなど、各社取り組んでいる中で、とりわけ効果的に使っていて、活用しやすそうだと感じた。
- 自由社は、資料画像が豊富で、イメージしながら文章を読めるので、生徒が学習しやすそうだと感じた。
- 育鵬社は、虫の目で見るという作り方が印象的だった。クエスチョン形式に考えさせる方法はとてもいい学習の仕方だと感じた。
- 学び舎は、歴史上の人物だけでなく、その時代の子供や若者の生き方等について取り上げる工夫が見られた。
- 令和書籍は、白黒でイラストも少なく、見にくいと思ったが、ハンディサイズになっていて、歴史の小説を見るかのように読めそうで、いいと思った。

## 【社会（公民的分野）】

- 東京書籍は、みんなでチャレンジのパートが印象的だった。班やチームで取り組めて、内容もおもしろそうだと思う題材が多く、工夫を感じた。
- 教育出版は、公民のノート作り、というのを最初に定義しているのが印象的だった。

それらを意識しながらつくったノートが最後の単元で活用できる、というのも意義があると感じた。

○帝国書院は、学習の前に、というパートで、これから何を学ぶのか、どういったところを注視すればいいのかというのが、明確になっていていいと感じた。

○日本文教出版は、イラスト、四コマ漫画風、写真がふんだんに使われていて、色使いも豊かで、生徒の目線に立って構成されていると感じた。

○自由社は、とてもシンプルでスタンダードな教科書だと感じた。テスト勉強をする際などは、こういった教科書が活用しやすいと思った。

○育鵬社は、やってみよう、というパートが、学んだ事をすぐにアウトプットできるような作りになっていて、今の時代にすごく必要だと感じた。

#### 【音楽（一般）】

○教育出版は、日本の音楽、海外の音楽、ラップまで、いろいろなジャンルの音楽が載っていた。今の音楽の授業は作曲の部分もあり、考える力に重きを置いているのを感じた。

○教育芸術社は、表紙のイラストが時代に合っていて、生徒が手に取りたくなると感じた。1ページ目に有名女優を起用していて、興味関心をひく工夫は大事だと感じた。

#### 【音楽（器楽合奏）】

○教育出版は、イラスト・写真は他社に比べると少なめで、その分譜面や文字が多いと感じた。譜面が読めて楽器が得意な生徒にはすごくよいと思った。

○教育芸術社は、イラストや写真が多く、見やすい。楽器ができない生徒にはこういったデザインのほうが親しみやすいと感じた。

#### 【美術】

○開隆堂は、タイル風に作られている表紙が、生徒の興味関心をひくのにとっても効果的だと感じた。文字が多く、情報量が多いながらも、見やすくなっていると感じた。

○光村図書は、構成や素材の使い方などデザイン全般がおしゃれで、色彩も豊かで見やすくもあり、見たくなる教科書だと感じた。

○日本文教出版は、風神、雷神の屏風を見開きで大きく載せて、実際に生徒が折れるようになっていて、折った時にどう変わるか、どう感じるか、美術の実際に触れてほしい、美術の面白さを伝えたいという気持ちを感じた。

## 【英語】

○東京書籍は、例文、問題、単語が、それぞれブロックごとに見やすく整理されていた。単語は新出単語と、そうではない単語に分けられていて、単語の学習がしやすくなっていると感じた。

○開隆堂は、問題が listen パートと speak&write パートに分かれている点が、とても見やすく感じた。線で結ぶ、選択する、穴埋めするなど、問題のバリエーションが豊富でイラストもうまく使われていて、学習したくなるような工夫が感じられた。

○三省堂は、どの出版社も使っているが、特に二次元コードを効果的に使っていると感じた。ペアを変えて話そう、という項目がすごく印象的で、実践で使えるような英語教育も意識していると感じた。

○教育出版は、think&try!の部分が、問いの文章だけだと、想像するのが苦手だったり、表現が苦手だったりする生徒には難しいと感じたが、カンガルーのイラストからのヒント的なコメントがあることで、とても取り組みやすくなっていると感じた。

○光村図書は、いきなり例文を読むのではなく、イラストからストーリーを予想するというワンアクションをいれることで生徒たちの考える力、想像力を大事にしていると感じた。listen, speak, write と必ず問題が同じ順でカテゴリズされていて、学習のしやすさを感じた。

○啓林館は、文字が小さめではあるが、その分情報量が多く、割合的に英語が多く使われていた。これに慣れると、英語が多い文章が苦手な生徒も減るような印象をもった。

## 【数学】

- 東京書籍は、豊富な例題、それに対する丁寧な説明の掲載、説明事項についてはできるだけ簡潔にまとめる等、学習を進めやすくするための工夫がされていた。また、デジタルコンテンツへの連携も行われており自主学習のしやすさへの配慮が感じられた。
- 大日本図書は、初めに身近な題材や職業と数学のつながりをもとにしたテーマが提示され、「活動」「例」を通して各章で学ぶべきことを確認する流れとなっている。そして、各章で学ぶべきことについて説明を行ったうえで「たしかめよう」や「補充問題」を通して学習内容の定着を図る構成となっている。なお、本書の特徴として学習者の意欲的な取り組みを求める紙面構成を挙げることができる。
- 学校図書は、冒頭の「Question」のコーナーで、各章での学習内容を提示するとともに、「目標」において学習する内容を具体的に示している。例題数は少ないもののきめ細かい説明がされており、基礎力の定着を確実にできるような配慮がされている。
- 教育出版は、既習内容との連携を図りつつ、新規の学習を充実させるための取り組みがされている。例題は少ないものの発展的な内容となっている。なお、本書の特徴として既習内容のふり返し等学習者の積極的な取り組みを求める紙面構成を挙げることができる。
- 啓林館は、各章の初めで学習内容に関連する身近な事例を取り上げ、学習に対する関心を高める工夫をしている。文中の説明に専門用語が多く使われているのが特徴である。また、二次元コードを利用してデジタルコンテンツとの連携が図られていた。学習を進めるにあたり、既習内容をきちんと理解していることを前提としている印象を受けた。
- 数研出版は、各章の初めで既習内容との連携を図りつつ、学習内容に関連する身近な事例を取り上げている。例題の取扱量や説明の内容については平均的といえる。しか

しながら、説明において専門用語が多く使われているため、既習内容をきちんと理解していることが欠かせないという印象である。

○日本文教出版は、例題は少ないが発展的な内容となっている。また、二次元コードを利用してデジタルコンテンツとの連携が図られていた。学習内容についての説明は平均的なものであり、例題の解説と説明の間にギャップを感じるかもしれない。巻末では「数学マイトライ」の形で数学と身近な事柄との関連や演習問題を掲載している。

## 【理科】

○東京書籍は、実験観察をもとにした学習を促す構成となっている。仮定・検証、そこからわかったこと、まとめの流れで紙面が構成されスムーズな学習を可能にしている印象である。章末の「学んだことをチェックしよう」のコーナーで各章の学習内容の要点が示されている。

○大日本図書は、各章の初めで各章において学習すべきことを提示した後、各項目について具体的な内容を示しながら説明を行っている。説明については実験・観察を通して行う流れとなっており、図や写真などを利用して状況をイメージしやすくしている。各項目のまとめについては「章末問題」を解かせる形としており、積極的な学習を求めるものとなっている。

○学校図書は、各学習項目において、初めに各項目で学習すべきことについて説明を行い、実験・観察等を通して確認する流れとなっている。「探求を深める」の項目で条件を変えた場合や応用的な内容について触れている。

○教育出版は、探求型学習を実践する流れとなっている。各項目では、観察や実験の手順を示しながら説明を行っている。単元末に「要点と重要語句の整理」「基本問題」「活用問題」があり、基礎学力の定着に力点を置いている印象である。

○啓林館は、実験観察をもとに説明を行う構成となっている。実験観察については「課題・仮説・計画・結果・考察」が見開きページにまとめられており、全体像がつかみ

やすくなっている。説明については図や写真をもとに簡潔に行われている。また、「Review」のコーナーで各項目の学習内容について確認を行うことができる。

### 【保健体育】

- 東京書籍は、章末に「章末資料」「学習のまとめ」を掲載し、学習した内容の定着を図っている。「学習のまとめ」は、各章で学んだことの要旨を記述させるかたちとなっている。現代社会の課題とそれに関連する事柄を含めて取り扱うなど、学習者の関心を高めるための工夫がされている。
- 大日本図書は、「タイトル」「学習のねらい」を通して、各項目で学習する事柄が明示されている。また、写真や図が多く掲載され、説明内容についての理解を深められるよう工夫されている。
- 大修館は、各章の初めでタイトルにて学習内容の概要を示した後、「課題をつかむ」でどのように学習を進めていくか具体的に示している。また、キャラクターからの吹き出しによりヒントを示すなど、学習を進めやすいような配慮がみられる。学習内容の定着を図る取り組みとして、「きょうの学習」のコーナーでキーワードを示しつつ、学習した事柄についてまとめさせる形をとっている。
- 学研は、「タイトル」「学習の課題」を通して、各項目での学習する事柄が示されている。学習の課題については「わかる」「考える」に分かれており、関連する情報の収集・整理、関連事項について考察することが求められるなど、どのように学習項目に対して向き合うか具体的に示されている。

### 【技術・家庭（技術分野）】

- 東京書籍は、各章のタイトルで学習内容の概要を示した後「目標」「学習課題」を通して、各章で学習する内容について理解を深める構成となっている。説明については「学習課題」に沿って行われており、できるだけ平易な言葉が用いられていると感じる。技術的な用語や機材の使用法など説明においては図や写真が多用されており、わ

かりやすさに重点が置かれている印象である。

- 教育図書は、テーマや「めあて」などが抽象的に示されている。説明にあたっては写真が多用されているが、写真が小さく、暗い印象を受ける。道具の使い方や作物を育てる工夫等については、別冊「スキルアシスト」において詳細な説明がされている。
- 開隆堂は、学習開始にあたり具体的製品や技術を紹介している。また「学習の目標」にて学習内容を明示し、その内容について考えるために必要な事柄について解説を行いつつ、理解を深めることができるように説明を行っている。また説明を補完するにあたり、写真よりも絵や図が多く用いられていることを特徴として挙げることができる。加えて、技術と実社会での結びつきを意識させる構成となっていることが印象的である。

#### 【技術・家庭（家庭分野）】

- 東京書籍は、構成については、「技術・家庭（技術分野）」に準じる。説明を補完するための資料として写真が多く利用されている。実習例も多く掲載されており、幅広い難易度からの実習選択を可能とするだけでなく、興味関心を高めることを可能にしていると考えられる。また「いつもたしかめよう」のコーナーで、重要項目についてまとめ、確認を促すなど、安全に実習を行うための配慮も見られる。
- 教育図書は、構成については、「技術・家庭（技術分野）」に準じる。資料が多く掲載されているが、字が小さいため、活用しにくく感じられるかもしれない。章末には「学習のふり返し」があり、短答式で問に答えるかたちで学習内容の定着度合いがわかるようになっている。
- 開隆堂は、構成については、「技術・家庭（技術分野）」に準じる。説明を補完するにあたり、写真が多く用いられている。また、写真や図は大判で見やすくなっている。基本的なことを中心にできるだけわかりやすく伝えようとしていること、自発的な学習につなげられるようさまざまな事例を紹介していることが印象的である。

## 【道徳】

- 東京書籍は、身近な事例や学習者にとって関心の高いと思われる事案を多く取り入れている。また「考えよう」では扱ったテーマや題材からわかることを記述させ、それに続く「見つめよう」で先につかんだことについて内容を深めるかたちとなっている。モラルや他者の尊重など現代社会において問題とされていることを重点的に扱っている印象である。
- 教育出版は、「学びの道しるべ」にて、それぞれの文章からどのようなことを読み取ってほしいか、そのことについてどのように考えるか等の問いかけがあり、どのようなことについて考えていくか示されている。普遍的な人権的課題に加え、キャリア教育・社会参画など、現代社会における課題について比較的多くのページを割いている。
- 光村図書は、学習にあたってのポイントや道徳で学ぶキーワードなどを巻頭で示しており、どのように学習を進めていったらよいか明確にされている。また、一題材あたりの文章量は少ないものの、収録されている題材数が非常に多くなっていることが特徴である。「考えよう」のコーナーをもとに「自分に問う」てから、「友達と問いあう」こと、それらのことを通して「生き方を問う」という流れで学習が進められるようになっており、討論型の授業展開を強く意識している印象である。題材については普遍的な問題から現代社会における課題までバランスよく収録されている。
- 日本文教出版は、「学びのキーワード」にて、それぞれの文章のトピックについて端的な説明がなされており、文末に記載される「考えてみよう」で題材からどのようなことを読み取り、どのように考えたか、などの問いかけがなされている。また、「自分に+1」では学習したことがらについて、どのように活かしていくのか考えるよう促しが行われている。学習においては、討論されたこと等をもとに、どのような自分でありたいか考えさせることに重点を置いている印象である。題材については普遍的な問題から現代社会における課題までバランスよく収録されている。

- 学研は、題材末に「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」というコーナーを配置することで、各題材をどのように活用したらよいか具体的に示されている。各題材から読み取ってほしい事柄や、学習の進め方などがわかりやすいため、学習者が主体的に課題を発見し、解決しやすくなっている。題材については普遍的な問題から現代社会における課題までバランスよく収録されている。
- あかつき教育図書は、題材末に「自分を見つめて考える」「自分の考えを深める」というコーナーを配置することで、各題材からどのようなことを読み取り、活用してほしいのか具体的に示している。また「マイ・プラス」「Thinking」などのコーナーで関連する事柄についての問題提起を行う等、学習を深めるための工夫がなされている。題材については一題材あたりの文章量は少ないものの、収録されている題材数が非常に多く、普遍的な問題から現代社会における課題までバランスよく収録されている。
- 日本教科書は、題材末に「考えよう」「深めよう」というコーナーを配置することで、各題材で扱われる事柄についての定義を明確にするとともに、学習者がどのように考えるのかを問う流れとなっている。また、添付された「ウェルビーイングカード」を活用することで討論を進めやすくすることができるよう工夫されている。題材については一題材あたりの文章量は少ないものの、収録されている題材数が多くなっており、普遍的な問題から現代社会における課題までバランスよく収録されている。

## (2) 調査員による調査研究結果の報告・協議

(議長) 調査員による調査研究結果の報告に入る。

### ①数学

(議長) 数学の調査員代表、よろしくお願ひする。

(調査員代表) 報告書に基づいて、数学7発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 数学は苦手意識が大変高い状況の教科の一つである。算数から数学に変わるので、数学という教科の苦手意識を少しでも緩和するというような視点での協議はあったか。

(調査員代表) 数学が苦手な子と、特に学力が高い子との学力差が大きいところについて議論した。特に練習問題等では、スモールステップで段階を踏んでいる、いろいろな工夫がされているという話が出た。また、苦手意識の緩和という点では、社会との関わりや、生徒の関心、興味が高まるようなトピックが充実しているかの部分に気を付けながら調査した。

(委員 A) その視点で良いと思われた出版社はどこか。

(調査員代表) どの出版社のものもよかったが、スモールステップの問題になっていて工夫されているという意見が出た出版社は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、数研出版などであり、また、苦手意識を事前に把握するという事で、章の初めに前学年までの学習内容を振り返るような内容が充実しているという意見が出た出版社は、教育出版、数研出版、日本文教出版である。

(委員 B) 0章という章立てをしている出版社もあったが、章立てについて協議はあったか。また、有効数字の扱い方についての協議はあったか。

(調査員代表) 0章を設けている教科書についての話題は上がったが、その教科書が特に良い等の議論までには高まっていない。また、有効数字等についても同様である。調査員の議論では、それぞれのページで、課題設定から、子供たちが自分たちで考えていく場面でどのような促しがあるのか、どのような題材や単元の中での課題を取り扱うのか、練習問題の豊富さや巻末の資料の豊富さ等についての話が中心であった。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は東京書籍。二次元コードが多く、○×クイズ等があり子供たちが楽しく学習できる。二次元コードは同じ位置に置かれており、確認しやすくなっている。また、インタビュー記事があり楽しい。第2案は啓林館。キャラクターを使い、親しみやすさを感じられ、興味をもちやすい。キャラクターの対話により多様な考えに気付けるように工夫をされている。第3案は数研出版。身近な題材を使いながら数学に関連付けている。各節の最初では、身の回りの題材を扱うことで生徒が興味関心をもって学習に取り組めるように工夫されている。

(委員 C) 第1案は東京書籍。身に付けたい数学における見方が一番よくまとまっている。二次元コードが豊富に付いている。第2案は数研出版。章の始めと終わりに既習事項の確認や振り返りのページが設けられており使いやすい。第3案が教育出版。学びリンクの中で、具体物の操作ができるのが非常に身近でよい。大日本図書についても、みそ汁のだし汁について、LED電球のコストの良さなど、生活に密着した観点があって魅力的であった。

(委員 D) 第1案は東京書籍。1年の導入で0章があり、算数から数学へと、小学校から中学校を円滑に接続できる配慮がある。また、「調べてみよう」から始まり、問題解決的な学習を意識した構成になっている。考えさせる主体的な学びが実現でき、終わりには実際の生活との繋がりが示されていて学習の意味付けができる。問題解決的な学習として、数学の自由

研究なども良いという意見もあった。マスコネクトとして身のまわりの生活、社会とのつながりを意識した内容も見られ、数学に興味・関心をもてるようにし、数学的な見方・考え方が広げられるということ、生徒が疑問を感じる学習を喚起するような場面の記載がある。関心・意欲を高めさせようとするページがある。第2案は啓林館。1年の冒頭で、数学への期待を高められるような構成がされている。ステップ方式で学ぶことができ、問題解決的な学習過程で、わかりやすい表現になっている。章の導入では身近な話題から入り、関心が高められる工夫がある。話し合う時間を設定し、対話的な学習を促す工夫も見られる。外国籍の生徒や学習障害のある方への配慮のため、読み上げ機能が充実している。重要部分の色分けがある。ただ、導入が短い、数学が苦手な生徒には興味が湧かないというところが心配である。第3案は学校図書。実生活に即した問題提示が行われている。問題提起の場面で、話し合いを通して解決の見通しを立てる、主体的な学習を通して考え方を育てていくという考え方は良いが、少し教科書主導のような気がした。もう少し子供の意識を大事にしたいという意見が出された。

(委員 D) 第1案は東京書籍。「考えてみよう」では、働かせてほしい数学的な見方・考え方を問う問題が示されている。「学びをふり返ろう」では、働かせてほしい見方・考え方がまとめられている。第2案は学校図書。数学的活動のページでは、生徒が主体的に課題発見から新たな課題を発見する過程が協働的に行えるように工夫されている。第3案は啓林館。

「たいせつな考え方」では働かせたい数学的な見方・考え方が示されており、その箇所は下線で示されている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。数学については、東京書籍を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 数学は東京書籍を選定する。

## ②理科

(議長) 理科の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、理科5発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 理科の実験等で事故等が起こることがある。安全学習の視点がどのように議論されたのか、その視点で優れた出版社はどこか。

(調査員代表) 安全面については、最も重要なものであるので、どのように表記されているのか注意した。東京書籍は太字のゴシック体、実験の注意事項は赤字で目立つようにされている。大日本図書は、黄色で囲まれて目立つようにされている。学校図書は、黄緑色の枠の中の赤文字で、目立つようにされている。教育出版は、太字ゴシック体のオレンジ色、目に付きやすいようになっており、マークなどで注意を引きやすく作られている。啓林館は、太字で表現している。差はつけにくいだが、東京書籍、大日本図書、教育出版などは目に付きやすい。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 B) 第1案は教育出版。冒頭に探究の進め方が書かれており、写真やイラストのバランスが良い。実験や野外での植物採集の際の禁止事項が丁寧に書かれている。コラムが非常に興味深い。第2案は啓林館。二次元コードが多く、自ら学ぶことができ、先生方も参考資料が多く、教えやすいのではないか。資料や写真がとても見やすい。ICTの活用についてのページがあり、実験結果をこのようにまとめると良いというレポートなどが例として載っていてわかりやすい。第3案は東京書籍。教科書の使い方、理科の学び方が詳しく紹介されている。

(委員 C) 第1案は教育出版。単元の扉が見開き2ページになっており、これから学んでいくことが明示されている。また既習事項がしっかり示してあるので、それをもとにこれから学んでいくことが明らかになり、子供たちの心の準備がしやすくなっている。また、構成が思考の過程と合っている。探究の進め方が重視されており、まず疑問を見つけ、課題を決め、仮説を立て、計画を立て、観察・実験、そして考察・結論と、論理的に流れている。このような物事の考え方は、他の教科でも応用できる考え方ではないかということで、評価した。安全について理科室のきまりや応急処置等のページが充実している。どの教科書も地震に関しては説明がされているが、地震災害、火山災害などの災害についての言及もなされていた。第2案は東京書籍。二次元コードが多く、繰り返し学習ができる。冒頭に理科室の決まりがあり、安全面の配慮がしっかり行われているというところを評価した。第3案は啓林館。探Qシートがあり、主体的に学習ができる工夫がなされている。読み物などの資料も多く味わい深く学習ができる。サイエンス資料があり、活用の価値がある。

(委員 D) 第1案は東京書籍。問題解決的な学習が大変明確な教科書である。学習

過程が探究の流れで1から8まで示されている。問題解決的で、探究的な学習過程になっている。問題解決的な内容としては、意欲が高まるような写真などを効果的に掲載している。単元の始まりにこれから学ぶことが図で示されていてわかりやすい。科学的に考察させる手順が示され、探究的な学習が進められるように工夫されている。「やってみよう」のミニ観察や実験があり、スモールステップで理解を促す工夫がなされている。単元末で、学習内容の整理、重要な用語の復習が用意され、掲載ページも記載されているため、振り返りがしやすい。花の断面図等が大きく示されており、解説についてもわかりやすい。日常生活や他教科との関連が多く、学習意欲を高めている。写真が多く取り組みやすく、理科嫌いが起きないのではないかと期待している。二次元コードからのデジタルコンテンツが充実している。安全面についてもしっかりと示されている。子供たちの実態及び育てたい資質・能力の面から第1案とした。それほど大きな差ではないが、第2案は教育出版。問題解決的な学習が大切にされている。冒頭に探究の進め方が示され、教科書の作りとして、折り込みページがあり、外に開くと、どの学習をしてもこの探究的な流れが見られる工夫があった。スモールステップで進められていてよい。実験が多く、それをもとに説明する活動を大切にしたい学びがよい。ハローサイエンスが身近なものに関連づけられており、学習したことが何に繋がるか、興味・関心を高めることに繋がっていて良い。文章中の重要語句に色がついていて、章末に整理されていて、振り返り学習がしやすい。難易度も適切で、様々な生徒に対応できる。安全面もしっかりと示されている。第3案は学校図書。探究的な学習を大切にしている。本時の見方・考え方が示され、思考力を育てることが大切にされてい

る。智に働けば役に立つということで、理路整然という内容で探究の進め方が示されているが、子供たちにとっては難易度が高い教科書かなというところが懸念された。

(委員 E) 第1案は教育出版。探究の過程がマークされ、探究的な展開を基本とした構成になっている。疑問・計画が配置されており、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察実験ができるように配慮されている。

第2案は東京書籍。「考察はここをおさえよう」が、レポートのまとめ方、議論の仕方など、言語活動の育成を意識したものになっている。第3案は啓林館。探Q実験、探Qシートなどでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力等を育成する場面が示されている。

(議長) 第1案として教育出版をあげた市町が3つ、東京書籍をあげた市町が1つであるため、協議を継続したい。

(委員 D) 現在使っている教育出版が悪いというわけではない。より子供たちのことを考え、私達も新たな目を見たときに、先ほど申し上げた点でよりふさわしいという意味である。大きな差ではない。新たな視点、いろいろな観点の中で、新たな視点の部分があると思っている。

(議長) 教育出版についてはどのように捉えているか。

(委員 D) 第1案については他と分かれたが、第1案と第2案はそれほど大きな差ではなく、内容も共通する部分がある。

(委員 A) 文部科学省の検定を通過していることから、まずはどの教科書も合格であり、その中で各市町の子供たちにとってどうか、あるいは先生たちが学校で教えるのにどれがふさわしいだろうか、という観点を聞きながら発表させていただいている。第1案と第2案で大きな差がないということであれば、ご理解いただいたということでもよろしいと思う。

(議長) 一定の方向性が出たという理解でよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。理科については、教育出版を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 理科は教育出版を選定する。

~~~~~暫時休憩~~~~~

### ③技術・家庭（技術分野）

(議長) 技術・家庭（技術分野）の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、技術・家庭（技術分野）3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) プログラミング教育は取り扱いに差があるようだが、協議はあったか。

(調査員代表) プログラミング教育は技術分野で扱うものであるが、ページ数や細かい部分の内容については協議では話題として特に出てこなかった。

(委員 B) 問題解決的な学習の内容について、協議はあったか。

(調査員代表) 例えば東京書籍では統合的な問題解決、教育図書については夢をかなえる技術、開隆堂では技術分野の出口、ということで、あらゆる領域の内容を加味した形でそれぞれの問題解決をしていく部分がある。それぞれの分野の單元の中で、細かい基礎基本のところは押さえつつ、さらに深めていくという意味で各教科書会社ともに工夫はされている。

(委員B) 生徒が主体的に学習を進める問題解決の過程で進める際に、現場の先生が活用しやすい教科書はどれか。

(調査員代表) これまで開隆堂の教科書が使われてきたが、他の出版社の教科書について、具体的にどれが良いということはない。他の教科については教科書を順々に進めていくことが主に行われているところだが、技術分野は、その時期によって子供たちの実態や地域性等を考慮した上で指導している。内容について前後することや、時間数についてもそれぞれ異なることもある。どの教科書であっても、各先生方は、上手に活用していくと思う。

(委員B) 分冊のものがあつたが、机上のスペース等話題に上がったか。

(調査員代表) 技術室もICT化が進んでいて、大型モニターや電子黒板等も導入されている。先生方は教科書を中心にいろいろな教材を使うが、電子黒板も活用しながらやっているため、作業スペースや机上のスペース等について特に問題があるかどうかという報告は聞いていない。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員A) 第1案は開隆堂。シンプルで説明もわかりやすい。実習例が多く、細かい説明がついている。実習例が豊富で、学校の実態に応じて指導ができる。基本的な知識・技能の習得から評価、改善までが統一的に示されており、3年間で学んだことを生かす工夫がなされている。第2案は教育図書。技ビトといって、技術に携わる人の話がある。各内容においては技術のプラス面とマイナス面が示されており、技術の正しい活かし方を考えさせるよう工夫がされている。第3案は東京書籍。二次元コードからYouTubeに移動するも

のもあり面白い。

(委員C) 第1案は開隆堂。ガイダンスがあり、新しい学習に対して、学びの方向等見通しを持つことができる。資料が豊富で、二次元コードも比較的多くある。本文と資料が隣り合わせになっていて、その資料をどの場面で活用すればよいかがとてもよくわかる。基礎的基本的な知識や技能が習得しやすくなっており、科学的な根拠を基に技術を理解、習得できるように工夫されている。第2案は教育図書。写真がとても綺麗である。見通しをもって学習できるように工夫されている。バリアフリーの観点から考えた紙面となっている。第3案は東京書籍。デジタルコンテンツの活用の仕方、技術分野の学び方が掲載されていてよい。知識の習得、問題解決の工夫、問題の発見と課題の設定、問題解決の評価、改善、修正の流れになっていて、自分の学習過程を振り返るように工夫がされている。情報モラルについてしっかり実施されている。開隆堂と東京書籍は、木材に関する説明がとてもよくできている。開隆堂の「テクノロジーに希望をのせて」というタイトルは、技術・家庭に対して夢があるような表記になっていた。

(委員B) 第1案は東京書籍。教科書を使いながらイメージして作業が進められる教科書になっているという、学校現場の声が強い。問題解決的な学習では、学習の流れが示され、目標、始めの活動、学習課題、本文、図版、活動、まとめの活動と、大変わかりやすく展開されている。領域のまとめに、「これからの〇〇の技術」のページが示されており、積み上げてきた技術と技術分野としての見方・考え方をもとに学習ができる。4つのステップでわかりやすく進められる。「すごいぞ！技術」、「技術のとびら」、「TECHLab」とよくまとまっていて、いろいろな面から技術が学べる。情報量がちょうど良い。先生が教える余白のようなものがある。二次元コードが充実している。

安全面では、安全配慮特設ページがあるなど、安全に対する配慮が見られる。第2案は開隆堂。問題解決的な学習の展開はよくできている。学び方のイメージも湧きやすくなっている。一時間の展開部分では、問題を作るところを大切に扱っている。流れもよくできているが、内容情報が多く、教科書兼資料集のようでもあり、生徒が主体的に学び進められるかどうかということで、懸念が出ている。学校の意見としては、この教科書になった場合、教師の準備がより必要になるということが挙げられた。学校からの意見では第3案であるが、総合的に第2案とした。第3案は教育図書。様々な学習パターンがあって、逆にわかりづらい、主体的な学習が進められるかどうか不安である。学び方の言葉がイメージしにくいという意見も出た。別冊のスキルアシストは使いやすそうという意見と、教科書と併用となった場合、スペース等問題ないだろうかと話題になった。

(委員 D) 第1案が開隆堂。学習内容から、技術の見方・考え方を働かせ、社会との繋がりについて考慮し、新しい技術の開発と持続可能な社会の実現について考えたり調べたりできるよう工夫されている。第2案は東京書籍。問題解決のプロセスに沿った構成になっており、思考や作業の手順がわかりやすく示されている。第3案は教育図書。技術の見方・考え方を働かせ、今ある技術のプラス面、マイナス面を考慮し、未来のために継続、持続可能な社会の実現について考えたり調べたりできるよう工夫されている。

(議長) 第1案として開隆堂をあげた市町が3つ、東京書籍が1つであるため、協議を継続したい。現場の声を重視したという話だったが、どうか。

(委員 B) 現在技術科の教員は、開隆堂の教科書を使っているが、十分活用して、授業を展開している。東京書籍の場合は、子ども自身が教科書を使って学習を進められ、作業のイメージもしやすいという意見があり、そうなれば、教員は

次の資料の準備や活動の準備などができて、より充実した授業ができるという意見があった。開隆堂の教科書は、教科書で足りない部分を教師が準備をしなければならないため、より子供たちのために準備をしたい、より教材研究をしたいという部分が奪われてしまうというところで、差が出ていると捉えた。しかし、今の教科書で授業をやっているし、資料もこれまで作成したものがたくさんあるだろうから、大事なものは引き継いでやっていけると思う。現場からはそのような意見が出てきたので、私達もそこに耳を傾けたというところが大きい。

(委員 C) 私は、教わる側からしたらどうなのか考えてみた。テクノロジーに希望をのせてというタイトルの後、ようこそ新たな学び、ようこそ技術の世界へというページがあるが、そこに自分たちが昔想像していたものが実現している、それが技術の世界だという部分をうまく提示をしていて、子どもたちが学習に入りやすい、いい導入になっていると思う。私はその点で開隆堂の編集の上手さに惹かれている。その点で開隆堂が第1案である。

(委員 B) 学習指導要領では、これからの〇〇の技術という部分、内容が大切であることが示唆されている。東京書籍では領域のまとめのところに示されていて、見方・考え方を育む部分に繋がるものとして、大事にしているということが現場の意見としてあったので、補足する。ただ、現在、開隆堂を使用しており、現場の教員が、教科書に足りない部分は準備しなければならないという意識の中で、やろうという意志もある。

(議長) 現場の声を重視したという話だったが、一方でまた開隆堂を使うことには支障はないという話だった。一定の方向性が出たという理解でよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。技術・家庭（技術分野）については、開隆堂を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 技術・家庭（技術分野）は開隆堂を選定する。

#### ④技術・家庭（家庭分野）

(議長) 技術・家庭（家庭分野）の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、技術・家庭（家庭分野）3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) どの教科書もガイダンスの後に、ABCの配列があるが、東京書籍だけが保育に関する部分が一番後になっている。保育実習を3年生で行うことが多いと思うので、東京書籍の配列が見やすいと思うが、配列についての意見はあったか。

(調査員代表) 特に配列について意見は出ていない。指導内容は、地域または学校の実態等を含めて検討しているので、必ず保育実習が3年生ということではない。各出版社が、この方がよいだろうと考えて配列していると判断している。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 B) 第1案は開隆堂。災害への備えから防災の取り組みや発生時の対応等、詳しく載っていて、避難所の違い等も載っている。家族・家庭生活のところ

で、ヤングケアラー、多様性など多くの事例を取り上げている。生徒が学習の見通しをもてる構成となっていて、実生活を考える場面が多く設定されており、自身の課題を見つけ主体的に取り組めるような工夫がされている。第2案は教育図書。色合いや見やすさの点でよい。動画視聴をはじめ、デジタルを生かす内容、また問題解決的な学習を進めて知識が習得できる工夫がされていた。第3案は東京書籍。多様なデジタルコンテンツ、コンピュータを用いたワークシートや思考ツール等学習効果を高めるための工夫がされていた。

(委員A) 第1案は開隆堂。生活の中にある課題を考える場面が多く、自分事として主体的に学べる部分が多かった。考えてみよう、やってみよう、話し合ってみようという部分が多く、主体的に学べる。調理の部分で、食物アレルギーに関する食品のところが黄色で示してあって、注意を促している。例えば教育図書などはアレルギー物質のところには下線が引いてあり、東京書籍はマークがついているが、開隆堂は見やすく、注意を促している。調理の基礎技能がまとめて掲載してあり、見やすい。本文がページの中心にあり、周辺に資料が載っていて、見やすい。第2案は教育図書。写真が多くてイメージしやすい。色や絵が工夫されていて、ユニバーサルデザインが考慮されている。生活の課題と実践、問題解決の過程を重視した取り組みができる。第3案は東京書籍。レッツスタートの部分で、本時の学習をしっかりと捉えるということで、どのページにも目標と学習課題が示されている。責任ある消費者になるために、ということで、何かを購入する場合の意思決定のプロセスがわかりやすく表示されている。

(委員C) 第1案は開隆堂。問題解決的な内容になっている。ただ1時間ごとでは振り返りが弱いという意見も出された。問題提示がかなり具体的になってい

る。やってみよう、調べてみよう、発表してみようなどの活動が提案されており、主体的な学習に繋がる。写真が大きいので良い。最近の話題も多く取り上げられている。調理実習が1ページずつで構成されているが、1ページのわりには見やすさに配慮がされている。魚の調理実習については、写真やQ&Aも掲載され、充実している。第2案は東京書籍。問題解決的な学習の考え方で構成されていてよい。調理実習関係は、見開き2ページで構成され、左ページから右ページに、ページをまたがって流れがあり、写真や説明などがわかりやすく構成されており、実習しやすい。さけのムニエルの調理法が詳しく書いてあっていいという話もあった。食中毒について詳しく記述されている。災害対策についての具体的な記述があって、主体的な学びが期待できる。災害中に中学生にできたことが書かれており、活かせるのではないか。二次元コードが充実している。第3案は教育図書。問題解決型の構成ではあるが、やや教科書主導型を感じた。構成がややわかりにくく、教科書が指示をして生徒が活動を進める印象である。1時間の展開の中で見つめるというのがあるが、課題を示されたものから決めていくような形であり、最後の振り返りも、できたかどうかのチェック型になっている。少し教師主導型ではないかと思う。ただ、私の学び、は記述型となっていて良い。ネットトラブルについて事例紹介していて、話し合い活動で提示されている。調理実習が1ページに詰め込まれていて見にくい。文字が多くあって少し見にくい。

(委員D) 第1案は開隆堂。調理の基礎、製作の基本を聞き、基礎的な技能がまとめて掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫されている。第2案は東京書籍。小学校で学んだことが示されており、学びの系統性が一目でわかるようになっている。各編の導入では、課題設定が記入

できるように工夫されている。第3案は教育図書。学習のまとめりごとに学習の振り返りができるような構成になっており、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように工夫されている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。技術・家庭（家庭分野）については、開隆堂を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 技術・家庭（家庭分野）は開隆堂を選定する。

#### ⑤保健体育

(議長) 保健体育の調査員代表よろしくお願いします。

(調査員代表) 報告書に基づいて、保健体育4発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は大修館書店。体のつくりについて詳しく書かれている。心肺蘇生法の部分で、「心肺蘇生法で救える命がある」と記載があり良かった。命に関わることを学ぶのは非常に良い。第2案は東京書籍。二次元コードが充実しており、ICTによる影響や睡眠についても触れており、良い。第3案は学研。スポーツの多様性ということで、全体的にスポーツの楽しさが成長などに繋がるように書かれているのが良い。

(委員 B) 第1案は大修館書店。体育理論、保健分野が多く、内容が充実している。二次元コード、デジタル教材も充実している。見開きで本文が中心にあり、周りに資料があり、非常に見やすいページ構成になっている。毎時間で、学習のまとめがあり、振り返りができる。心の病気の例が載っており、高等学校の保健体育の学びよりもっと早くから学んだ方がいいのではないかなという考え方もあるので、しっかり載っていたのがよい。さらに、心の病についての相談場所まで書かれていてとてもよかった。LGBTについての情報も細かく書かれている。それから、応急手当、AED、心肺蘇生等も図解されていてわかりやすい。第2案は東京書籍。学習の流れが一目でわかる紙面構成で、各章の扉に既習事項や高校で学習することなども書かれていて、系統性を意識した学びを展開できるように工夫されている。紙面は、分野により色分けがしてあり、非常に見やすくなっている。第3案は学研。本文がユニバーサルデザイン体で見やすい。学んだことを今後の生活に生かす活動が設けられていて、基本的に生涯にわたる豊かなスポーツライフが実現できるような生涯スポーツを意識したつくりになっているところが良い。

(委員 C) 第1案は大修館書店。問題解決的な学習ということで、つかむ、身につける・考える、まとめる・振り返るの3段階が、保健体育という教科としてはちょうどよい。課題学習、実習、ブレインストーミング、ディスカッション、インタビュー・アンケート・実地調査など、学び方が豊富で、学び方を学びながら学習ができる。一時間の見開きページの資料や文字のバランスもよく、大変読みやすく、引きつけられる構成内容になっている。デジタルコンテンツがクイズ形式となっており取り組みやすく、振り返りもできる。心肺蘇生やがんの予防についても適切な量、内容でとてもよい。第2案は東京書籍。4つのステップで問題解決的な学習になっていてよい。問いが少し細かく、

多いという面がマイナス面で挙げられている。学習のキーワードが初めに書かれていて、内容との繋がりがわかりやすい。巻末スキルがわかりやすい。心肺蘇生やがん予防についてもしっかりと書かれている。二次元コードも充実している。第3案は学研。4つのステップで問題解決的な学習になっていて良い。1時間の学習が見開き2ページではなく、1ページで作られており、少し煩雑である。テーマについて考えさせる工夫がある。ストレスについて詳しく記述がある。心肺蘇生についてもしっかりと書かれているが、写真が多くあって逆にわかりにくさもあったということが指摘されている。

(委員 D) 第1案は大修館書店。つかむ、見つける・考える、まとめる・振り返るの3ステップで構成されている。多様な導入活動を提示し、学習活動に対する気付きや思考を促す学習過程を通して、思考力や判断力、表現力等を育成する工夫がされている。第2案は学研。各章末には「探究しようよ!」という補足資料や学習を振り返り、生活に生かすことができる章のまとめがあり、学年の終わりには学年のまとめが設けられている。第3案は東京書籍。主体的に取り組めるよう、教科書の使い方が巻頭に掲載されており、見つける、学習課題、課題の解決、広げるの4ステップ構成が理解しやすくなっている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。保健体育については、大修館を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 保健体育は大修館を選定する。

(議長) 以上をもって、午前の部を終わる。事務局より連絡をお願いする。

(事務局) 午後の日程の説明。

(議長) 以上をもって午前の予定を終了する。

~~~~~昼食休憩~~~~~

(議長) 午後の部を再開する。

事務局より発言あり。

(事務局) 午前中の技術の協議にて、委員の発言の中で、教育図書のことを誤って教育出版との発言があった。訂正をさせていただく。

## ⑥英語

(議長) 英語の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、英語6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 中学校への接続という点で、楽しく活動できる教科書はあるか。

(調査員代表) どの出版社もよく作られている。1つには決められないが、小学校と同じ出版社だと慣れていてよいのではないか。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は開隆堂。見やすく、イラストがよい。二次元コードも充実している。親しみやすい教科書である。第2案は光村図書。学び方ガイドがよく、振り返りに使える。CAN DO リストは3年間分掲載されている。第3案は教育出版。中学校卒業するまでの目標や、なりたい自分を変えてみようというコーナーがある。振り返りが充実している。

(委員 B) 第1案は開隆堂。国際社会を意識した内容構成で、非常にバランスが取れている。第2案は三省堂。登場人物をうまく活用して、単元の学習を行いやすい工夫ができています。第3案は東京書籍。学習の導入での活動が明確で、何のために学習するのか、必要感を得やすい。

(委員 C) 第1案は東京書籍。各ユニットのゴールが冒頭にはっきりと示されていて、どんなことができるようになるかが明確である。スモールトークというペアで話す活動を取り入れている。スモールステップで積み上げて、各学期の終わりに、作文やスピーチなどで具体的に表現する活動が設定されている。小中の接続に関する配慮を丁寧に扱っている。第2案は開隆堂。段階的に our Project という学期末のまとめの活動を通して、中学校で学ぶ語彙や文法を使って、表現力、スピーチの力をつけることができるような構成になっている。第3案は三省堂。各パートの冒頭にスモールトークの目標があり、コミュニケーション能力の育成に繋がるような工夫がされている。

(委員 D) 第1案は開隆堂。our Project の配置により3年間の到達目標が明確になっている。レビュー&リテールでは、本文の内容を振り返り、自分の言葉で採用することで理解が深められるよう工夫されている。第2案は東京書籍。適切かつ効果的に読む力が身に付けられるよう工夫されている。第3案は教育出版。適切かつ効果的に読む力が身に付けられるよう工夫されている。

(議長) 第1案として開隆堂が多く挙げられているが、他の意見はないか。

(委員 C) 東京書籍については、丁寧に学習内容を組み立てており、学校の意見も考慮して挙げたが、開隆堂との差はほとんどない。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。英語については、開隆堂を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 英語は開隆堂を選定する。

## ⑦美術

(議長) 美術の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、美術3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 学習進めるにあたっては、どういうものがより中学生に合っているのか。

(調査員代表) 視覚に訴えるということが大きい。中学生にとって魅力的な資料があるという事は一つの魅力になる。

(委員 B) 文字でいろいろ説明している教科書もあるが、文字よりも資料であったり、子供の活動であったりするほうが、参考になるのか。

(調査員代表) 生徒に身近な資料が掲載されていたり、QRコードが充実していたり、教科書会社によってさまざまであるが、生徒一人一人によって参考になるものはそれぞれ異なると思う。

(委員 C) 別冊が付いていたり、内容の分け方に違いがあったりしているが、どうか。

(調査員代表) 分け方は以前と変わっていない。別冊については新しい形なので、便利であることや、保管方法などで話題には上がっていた。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は開隆堂。表紙の凹凸が実際の作品に触れているようで面白い。ワク

ワク感がある。各題材の必要な知識や技能が、図版や美術の用語で理解しやすい提示がなされている。作者の言葉やアイデアスケッチで話合いや学び合いが効果的に行える工夫がなされている。第2案は光村図書。別冊として、様々な技法がわかりやすく載っている。本編も見開きを効果的に使用している。日本の昔の作品は紙を変えて紹介するなどの工夫がされていて良い。仏像について手の形の意味や持ち物の意味などを掲載しており興味深い。第3案は日本文教出版。写真の使い方がうまく迫力あるページになっている。美術を通して、生き方や学び方を考えられる工夫があつてよかった。

(委員 B) 第1案は開隆堂。共通のキャラクターが使用され、生徒の思考を導いている。話題性のある建築を扱っている。第2案は日本文教出版。内容が短い文章でまとめられていて、導入のための発問があり、生徒自身が考えられるようになっている。第3案は光村図書。技法等の資料がよくまとまっていて、活用できそうである。地域に根付いた良質な建築を扱っているところが非常にいい。土器についてよく触れている

(委員 C) 第1案は開隆堂。主にどのような力を身に付けるかを題材の中で示してある。情報量が適切で、生徒の主体的な学びが期待できる。アニメや映画など身近な素材が取り上げてあつて、興味をもって取り組める。制作の仕方、写真などでわかりやすく説明されている。凸凹の表紙もよい。岡本太郎さんのメッセージがあり、美術を学習するにあたって安心するような内容があつた。折り込みが効果的で、イメージが広がりやすくなる。折り込みの資料は内側も外側もうまく工夫されている。作品例が様々で、生徒作品も多く、イメージしやすい。第2案は光村図書。技法に関する資料が良い。別冊になっていることで使いやすい。小さめであり、持ち歩きもできる、挟み込めるということもよい。和紙を使った題材など日本の絵画を取り上げている。風神

雷神やゲルニカなど、いろいろ工夫がされてあって良い。第3案は日本文教出版。表紙等を広げると、大きな1枚の絵になり、非常に魅力的であった。生徒作品が多い。情報量が少し多い。美術書のような教科書で、文字が多く、作品数が少ないために、学習意欲が高まるか、あるいは豊かな表現に繋がるかということも感じた。

(委員 D) 第1案は開隆堂。造形的な視点の習得のため、題材を通して育成を目指す資質・能力について小見出しや作者の言葉を活用し、造形的な視点を捉えられるよう工夫されている。第2案は日本文教出版。題材の冒頭に鑑賞の入り口と題した問いかけや、作品ごとの造形的な視点といった吹き出しによって造形的な視点を捉える工夫がされている。第3案は光村図書。題材の導入部分での鑑賞の問いかけやポイントといった吹き出しによって工夫がされている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。美術については、開隆堂を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 美術は開隆堂を選定する。

## ⑧地理的分野

(議長) 地理的分野の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、地理的分野4発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) SDGsの取り扱いについて調査員から何か意見はあったか。

(調査員代表) SDGs についての特段意見は出ていなかったが、調査研究資料には特筆すべき事項として記載があった。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は東京書籍。導入部分から子供たちが取り組みやすい工夫がされている。表紙の裏に身近な世界の食べ物が載っており、会社の編集姿勢が表れていて良い。課題から振り返りまでがわかりやすい、印象的な1枚の写真から主体的な学びに繋がる導入ページがあり、課題解決的な学習によって地域の特色を捉えることができる。第2案は教育出版。振り返りの学習の場面が充実している。内容のまとまりごとに見通し、振り返りの学習場面が充実しており、主体的・対話的で深い学びを実現しやすくなっている。第3案は日本文教出版。世界や日本の各地方の地理的特徴、特色がよく挙げられており、深い学びを実現しやすくなっている。

(委員 B) 第1案は帝国書院。表やグラフのレイアウトが固定化されていて、非常に使いやすくなっている。地理的な見方・考え方を活用して考えやすいものになっている。構成がとても見やすくなっている。地図帳の活用を一番取り上げている。第2案は東京書籍。とても内容バランスが良く構成されている。二次元コードが單元ごとに表示されていて、家庭でも自分で学習しやすい構成になっている。食べ物から入っているということで地理への興味を引き付けやすい。第3案は教育出版。SDGsの視点を盛り込んでいて、SDGsについて改めて考えやすくなっている。地球的な課題を身近な視点で捉えて学習を進めることができる。

(委員 C) 第1案は東京書籍。單元全体を貫く探究課題を立てて、課題解決的な学習が

できるよう工夫されている。個人活動で考えを整理したり、あるいはグループで話し合ったりする活動を取り入れたりするなど工夫されている。地理を学ぶ五つの見方では、位置や分布、場所、人と自然の関わり、地域と地域の結びつきという大切な地理的な見方・考え方を育成できる。地理学習の基礎的・基本的な技能を身に付ける工夫がある。資料活用能力を鍛えることを通して、判断力を養うような工夫もある。二次元コードが充実している。第2案は日本文教出版。各単元の導入ページで、単元全体を貫く探究課題を立てて、まとめと振り返りのページでは、自分の考えを文章で書かせたり、話し合ったりできる。課題解決的な学習の工夫が見られる。考えを深める工夫が見られる。第3案は帝国書院。技能を磨くコーナーがたくさん設けられており、学習に必要な機能を習得するのに役立つ。地図や写真グラフが大変大きく見やすい。特に地形図などは大きく、色も地図帳の良さを取り入れていて大変良い。

(委員 D) 第1案は東京書籍。単元導入部に学習を通して追求する探究課題を設定しており、生徒自ら課題を設定することで、学習の動機づけや学習の見通しがもてるように工夫されている。第2案は帝国書院。学習課題から順を追って構成されている。事象の仕組みや概念等の基本的な知識が理解できるよう、具体例を挙げて記述されている。第3案は教育出版。導入部分において学習の見通しや見方・考え方を提示し、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 第1案とし東京書籍が多く挙げられているが、他の意見はないか。

(委員 B) 帝国書院は、地図との関わりが充実しており、その地域の環境、産物などが

とてもわかりやすくなっているが、東京書籍については、単元の目標や学習内容に着目しやすくなっており、使いやすくなっている。

(議長) 選定に移る。地理的分野については、東京書籍を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 地理的分野は東京書籍を選定する。

### ⑨歴史的分野

(議長) 歴史的分野の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、歴史的分野 9 発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 歴史的事象に対する考察等、記述内容について調査委員会では分析をしたか。

(調査員代表) 様々な歴史的な解釈については分析をしていない。

(委員 A) 内容については、国の検定を通過しているので、記述内容の議論は行われなかったということによいか。

(調査員代表) 詳細に記述されているかどうかについては議論したが、それ以上のことは議論していない。

(委員 A) 中学校の歴史の学習の特色はどのように捉えたらよいか。

(調査員代表) 様々な捉え方があるが、歴史を振り返って現代を考える、先人に学ぶ、ということが大切ではないか。

(委員 A) 調査委員との協議の中で、縦書きの教科書や、他教科との関連等、教科書の作り方に関して意見はあったか。

(調査員代表) 縦書きについては、話題にあがった。横書きに慣れていることもあり、少し慣

れるのに時間がかかるのではないかとの意見があった。地理的分野、公民的分野、地図との繋がりはどうかというところでも話題が出た。

(委員 B) 一部教科書の調査資料に、愛国心を育むことができるようになっているとあり、道徳的な評価が書かれているが。

(調査員代表) 調査員が調査をし、記載したということである。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は東京書籍。冒頭に歴史についての説明や歴史に対するきっかけが書かれており、学び方が非常にわかりやすく書かれている。二次元コードが出版社の中で2番目に多く、デジタルコンテンツの活用方法の解説もあり、教科書のページ以上の情報量がある。課題設定がよく、最初から振り返りまで一貫している。第2案は教育出版。見開き2ページの中に本文資料の学習活動がバランスよく位置づけられている。第3案は日本文教出版。1節ごとに二次元コードがあり、テストなどもでき、家庭学習でも活用できる充実した内容となっている。

(委員 B) 第1案は東京書籍。自分の言葉で表現する機会を、機会が多く設定されており、生徒が歴史的な見方や考え方を働かせて表現する仕掛けがある。導入資料や探求資料が適切で、二次元コードから自立的に学習しやすい。見開きのページの右側に年表があり、時代を把握しながら学習を進めることができる。教科書の左ページの上に写真が大きく載っていて、非常に読みやすい。どこの時代をどんなふう勉強しているかということが非常にわかりやすくなっている。第2案は日本文教出版。導入で、学習の見通しを立てて、振り返りが行えるような仕掛けがある。第3案は帝国書院。章の初めに、時代を

大きく体感できるイメージ絵を掲載している。地政学的な見方ができる配慮がある。

(委員 C) 第1案は東京書籍。生徒が主体的・対話的に深い学びができるように、課題を立てて追求し、解決するという構成で、各章全体においても、見開き一体時間においても問題解決的な展開をされている。各章の導入とまとめのページで「みんなでチャレンジ」というコーナーを設けており、グループで話し合う対話的な学びの視点が示されていて、主体的な学びが期待できる。各章のまとめ、確かめを振り返ろう、深めようという学習スタイルで大変丁寧で、思考力、判断力、表現力などが身に付くのではないか。写真の大きさなども含めて、資料の種類や配置の工夫、二次元コードも充実しており、生徒が主体的な学習を展開しやすくしている。第2案は日本文教出版。章の構成も本文ページも問題解決的なスタイルで、主体的な深い学びができるように展開されている。各編の導入は、4ページ扱いで、2枚の絵の絵や写真などの比較や、地図と年表の読み取りなどを通して気付いたことを話し合う活動を取り入れて、学習の見通しをもたせるというような工夫がされている。歴史を楽しく深く学ぶために、人物らを地域に学ぶ歴史プラスアルファを設けるなどの工夫が見られ、二次元コードも大変充実している。第3案は教育出版。章の導入では、扉のページと、前の章の最後のページの絵や写真を比べて、時代の変化を考えさせる導入で、対話的な学びが深まる工夫が見られる。まとめ学習のところは、ややワークシート的な形式で個人活動が中心になっている。二次元コードは大変素晴らしいものがあるが、数としてはやや少ない。

(委員 D) 新聞記事や教科書展示会場のアンケート内容、町民あるいは市民、県民の中でも話題になっていることもあり、情報提供をさせていただく。調査した教

科書については国の検定を合格していて、内容的には問題はないと考えているが、いくつかに絞り、記述内容を比較してみた。邪馬台国の九州説と近畿説、鎌倉幕府の成立年号については諸説あるという記述をしているのがほとんどであった。先の大戦については、それぞれの歴史観があるが、学習指導要領に準拠した内容は確認できた。東京書籍、日本文教出版、教育出版では、南京事件、大東亜戦争、大東亜共栄圏についても、様々な説があることが記述されていた。育鵬社では、戦争については様々な見解があり、今日でも論争が続いているとの記述や、それぞれの立場で歴史的事象を捉えている記述があった。自由社は、南京事件の被害者等について、様々な説があることを示さず、他の出版社との論調の違いがあった。小学校から中学校、そして大人まで、生涯にわたって学べるのが歴史の一つの特色であり、発達の段階に応じながら、興味・関心に応じながら学び進めることができるのも特色である。歴史観はそれぞれあるが、中学校の義務教育としては、日本の歴史を生涯にわたって学び続けてほしい、学ぶことを通して自分の考え方を作ってほしいと考えた。そのような考えをもとにすると、諸説ある、議論されている、結論が出ていないなど、こういうことをしっかりと紹介をして、もっと興味・関心をもたせて、この教科書はこう書いてあるが他はどのようなだろう、教科書以外はどうか、と考えていけるような子供を育てていくのが教育である、義務教育であると考えた。次の学びに続くようにしていき、もっと学びたいと思わせることが大切だと思いながら、比較をさせてもらった。十分読み取れてないものもあるが、調査研究した範囲ではそのようなことがわかった。

(委員 E) 第1案は東京書籍。各章ごとに課題をつかむ、課題を追求する、課題を解決するという構成になっており、まとめでは学習を定着させ、深められるよう

な構成になっている。第2案は帝国書院。小学校地理、公民、他教科との関連を示すことで、既習事項や繋がりを確認することができるとともに、物事を多面的・多角的に捉える配慮がされている。第3案は教育出版。ホップステップジャンプでは、学習した内容を活用する能力を高め、歴史的な見方・考え方を深める工夫がされている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。歴史的分野については、東京書籍を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 歴史的分野は東京書籍を選定する。

#### ⑩公民的分野

(議長) 公民的分野の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、公民的分野6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(議長) 質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は東京書籍。課題設定から振り返りまで一貫していて良い。若い先生が利用しやすい教材支援があり、誰でも扱いやすい。理解を深める工夫がある。第2案は帝国書院。学習の前から最後までイラストが多く、子供たちが学習に取り組みやすい。若い先生が利用しやすい教材支援があり、誰でも扱いやすい。第3案は教育出版。各章のはじめに学習課題が提示され、それを解決するために学習を積み重ね、まとめの学習で振り返る構成となっている。

ところが良い。

(委員 B) 第1案は東京書籍。単元ごとに大中小の問いが設定され、生徒が学習の見通しをもちやすくなっている。各ページに二次元コードが提示され、多面的多角的な学習を展開しやすくなっている。学習をより身近に、そして進化させることができる18歳へのステップコーナーが設定されているのも良い。小集団での協働的な学びを促すコーナーが設定されており、主体的・対話的で深い学びを実現しやすいバランスの良い構成である。現代の社会課題について丁寧に触れている。社会福祉や少子高齢化、社会保障など、これから子供たちが抱えるであろう課題を丁寧に説明している。第2案は帝国書院。各単元を象徴するイメージ絵から現代社会を想起させ、学習しやすくしている。社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習が設定されている。第3案は教育出版。SDGsを中軸に据えて、随所に特設ページが設定してあり、統一感がある。

(委員 C) 第1案は東京書籍。単元の構成や1時間の流れが、課題解決的な展開となっている。「誰を市長に選ぶ」「コンビニの経営者になってみよう」など資料をもとに考えさせる学習があり、大変工夫されている。主権者教育の視点で、選挙の流れや契約と支払いの方法等、政治に向けての意識自覚が高められるものとなっている。二次元コードは、内容も多様で大変充実している。第2案は教育出版。各章の導入で、生徒の生活体験を大切にしたウォーミングアップ公民を位置づけて、単元を貫く課題を捉えさせ、見通しをもたせて展開が図られている。1時間ごとの学習課題で何を追求していくかを明確にしている。やや教科書主導の流れになっている。第3案は日本文教出版。学習の始めでは、誰でも興味をもてるような漫画で、問題意識をもたせ、学習内容の問いと見通しをもたせる工夫が良い。社会参画を高めているところが良

い。やや教科書主導になっている傾向がある。

(委員 D) 第1案は東京書籍。思考力・判断力・表現力等を効果的に育成するために、思考ツールを用いて考えを整理し、探究課題の解決に繋げるみんなでチャレンジが設定されている。第2案は帝国書院。思考力・判断力・表現力等を効果的に育成するため、対話を通して学びを深める学習が設定されている。第3案は教育出版。技能や表現力を養うためのグループ活動を紹介する「公民の技」など、技能習得のサポートする工夫が見られる。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) 選定に移る。公民的分野については、東京書籍を採択案としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 公民的分野は東京書籍を選定する。

## ⑪地図

(議長) 地図の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、地図2発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(議長) 質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は帝国書院。とても見やすく、国名もはっきり書かれていて覚えやすい。総ページ数が多く、地理学習への配慮が良い。世界の自然環境や生活文化産業などのイラストを配した鳥瞰図や関連する二次元コードが掲載され、主体的に地図帳を活用できるような工夫がされている。第2案は東京書籍。

日本の各地方の基本的な知識が習得できるような工夫がされている

(委員 B) 第1案は帝国書院。各ページにある2次元コードから主体的に活用することができる。歴史的分野、公民的分野に関連するページが新設されていて、総合的な学習に活用しやすくなっている。SDGsに関連したページが設けられている。自主学習に対しても活用しやすい。防災に関する地図や資料が増えて、環境学習を行う際に活用しやすい構成になっている。資料の豊富さ、見やすさが突出している。第2案は東京書籍。全体的に情報量は少ない。江戸時代と現在の比較ページが親しみやすくわかりやすい。

(委員 C) 第1案は帝国書院。資料が大変豊富である。地図上の地名の活字が目に優しく読み取りやすい。世界の地形の山地と平地の色合いが濃くはっきりしていて、地形の特徴は捉えやすい。世界の鳥瞰図は、特徴をイラストでわかりやすく示す工夫もあって地域の特色が掴みやすく工夫されている。環境問題や食糧問題など世界の生活文化を丁寧に扱っていたり、日本の自然災害、防災のページも、線状降水帯の仕組みまで取り上げていたり、今日的な課題が大変充実している。地図で発見という枠があり、地理的な見方や考え方を育てる工夫が大変有効である。第2案は東京書籍。キャラクターをうまく活用していて、全ページでそれが示されているのは、地図を深く読み取るためのヒントになるところが良くて良い。デジタルコンテンツ教材が大変充実している。

(委員 D) 第1案は帝国書院。基本図、テーマ別資料図、鳥瞰図で、自然産業、生活文化の視点で構成された多様な資料を用い、広い視野から日本と世界の地域的な特色を交錯させ、考察させ、理解させるような工夫になっている。第2案は東京書籍。キャラクターを活用することによって、社会的な見方・考え方の視点をもたせ、思考力をより深められるような工夫が見られる。

(議 長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議 長) 選定に移る。地図については、帝国書院を採択案としてよいか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) 地図は帝国書院を選定する。

(議 長) 以上をもって、本日の協議を終了する。この後事務局からの連絡がある。

(事 務 局) 23日の日程、内容の確認。

(議 長) 以上をもって本日の予定を終了する。